

# いぼん

No.14 2015. 5. 1

入間市障害者相談支援センター **いぼん**  
 入間市障害者就労支援センター  
 入間市豊岡1-16-1 市役所内  
 TEL 04-2901-7088

障害者就労支援センターいぼん

## 5月で就労支援センターが7年目に突入！

早いもので就労支援センターが誕生してから5月11日で丸6年、7年目に突入します。その間、市役所はじめ関係者の皆さまのおかげで、今では1日30人程の方にご利用いただいております。現在、りぼんに登録している方、就労されている方の内訳は下記の表の通りです。

最近の傾向として、発達障害を含んだ精神障害の方の登録が増えています。この増加に対して就労できる割合が追いつけておらず、精神障がい者の雇用義務化と併せ、解決する方法を見つける必要があると思っています。この問題も含め、その時々々の要求にも適応しながら、センター説明会（※参照）でも申している通り、障害があっても、“働きたい”“働き続けたい”そんなあなたを応援させていただきます。と同時に、障がい者の雇用を考えている企業、実際に雇用されている企業も応援させていただきます。皆さま、お気軽にお声がけ下さい。今後とも宜しくお願い致します。

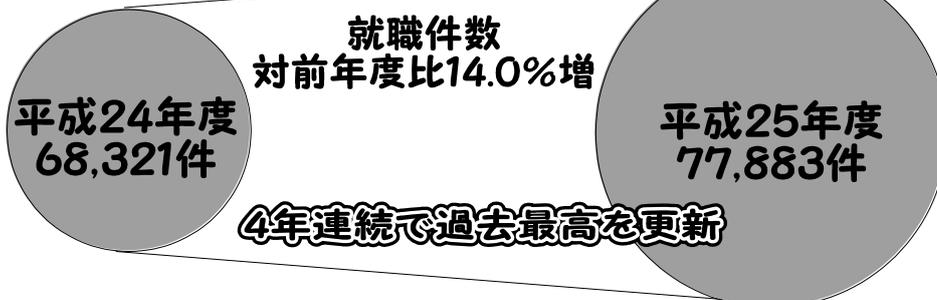
### 就労支援 実績数(H27年3月末まで)

	登録者数	就職者	相談件数 (平成26年度)	1日あたりの相談・支援件数
人数	247名	145名	6562件	平均27.89名

記：就職者はすでに就労している方で、就労継続のための支援を希望する方も含まれます

※センター説明会：就労支援センターいぼんでは、これから利用をお考えの方を対象に毎月第2、第4木曜日の午後1時30分から、実施している就労支援の概要について説明させていただいております。事前に参加予約（電話可）が必要になりますが是非ご参加ください。

ハローワークを通じた障害者の就職件数4年連続で過去最高を更新  
 精神障害者の就職件数が身体障害者の就職件数を初めて上回る



ハローワークを通じた障害者の就職件数は、平成24年度の68,321件から大きく伸び、77,883件（対前年度比14.0%増）と4年連続で過去最高を更新しました。また、就職率も45.9%（同3.7ポイント上昇）と、4年連続で上昇しました。さらに、精神障害者の就職件数が大幅に増加し、初めて身体障害者の就職件数を上回りました。

厚生労働省HPより抜粋

# 就職者インタビュー⑤

今年の3月に狭山特別支援学校を卒業し、新社会人として活躍している2名にインタビュー♪

## 小関 冬弥さん 就職先：セイキ販売（4/1 入社）

**Q:仕事の内容を教えてください**

網戸の部品を仕分ける仕事です

**Q:大変なことはありますか？**

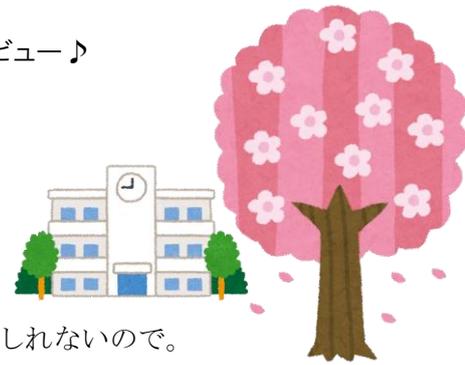
台車でネットを運ぶのが。ネットは重いし長いので、他にぶつかっちゃうかもしれないので。あと、台車に載せるのに番号があるので番号を覚えるのも大変です。

**Q:お仕事をされていて楽しいときはありますか？**

みんなと話したりするのが楽しいです

**Q:お仕事をしていく上で大切なことはなんですか？**

休まず仕事に行くこと、挨拶をしっかりすること



会社から評判の良いお二人  
これからも頑張ってください！



## 菅野 翼さん 就職先：久兵衛屋（4/1 入社）

**Q:どんなお仕事をしていますか？**

食器洗いや盛り付けをしています。ネギや油揚げ、生姜など決まった重さがあるので分けています。この前は白髪ネギを切って機械に入れる作業を初めてやりました！新しい仕事を覚えるのは楽しいです

**Q:仕事をしていく上で気を付けていることはありますか？**

学校の友達とはメロでいいけど仕事では言葉遣いに気を付けています

**Q:学校と職場の違いはありますか？**

座って授業を聞いているのと違ってずっと体を動かしているので疲れます…

**Q:お給料の使い道はもう決めてますか？**

自分の携帯代と、生活費です。服も買いたいし、車の免許を取るお金を貯めたいです。

**Q:後輩に一言！**

学校だと休み時間とか遊びの時間があるけど仕事だとない。学生さんは今のうちに分かっておかないと未が大変だと思います。



## 第5回りぼん杯 ボウリング大会

2015年1月24日(土)にサイオスポウルにて開催しました♪トロフィーをかけて18名が熱いバトルを繰り上げた結果、断トツの成績をおさめた男性が優勝しました！次回の開催は8月を予定。さらにアツイバトルになるかもしれません…



## はたらこサロン

2015年3月7日(土) 18名参加

りぼん恒例のはたらこサロンは毎回参加者の交流の場になっています。今回は3グループに分かれ、趣味や悩み事の話をしていました。今年度も継続し、さらに発展させていきたいと思っております♪



## 新スタッフ紹介



**森 裕茂**（創和ユニットから異動）岐阜県出身  
平成27年4月1日から就労支援センターで働いています。  
より良い人生を送るために少しでもお役に立つことが出来れば幸いです。

# 障害者相談支援センターいぼん

## 第3期障害者自立支援協議会 専門部会報告

### こども部会

### 市に「提言書」を提出しました！



＜これからの障がい児支援に関する提言＞

- ① 「障がい児支援の核となる相談支援専門員の配置を」  
親子支援課に障がい児支援の核となる相談支援専門員の配置を。
- ② 「健康福祉センターを障がい児支援の拠点に」  
障がい児相談窓口だけでなく、障がい児支援の拠点として様々な地域支援の機能を併せ持つことが望ましい。
- ③ 「提言の実現に向けて、障がい児施策検討委員会の設置を」  
官民協働で入間市に障がい児支援の新たな仕組みを作ることを目的とする検討委員会を設置すべき。

### くらし部会

- ① しょうがい支援ネットワーク会議を5回開催しました  
障害福祉、高齢者福祉、医療機関、学校教育等の関係機関や民生委員の延べ300名の参加。グループワークによる意見交換。連携のあり方及び関係機関での役割分担の明確化。
- ② 地域型相談支援事業所の部会への参加（構成員として）  
相談支援の充実、情報の共有化。

### しごと部会

- ① 福祉プランに文言を載せ次期の協議会に引き継ぐことができた  
「はたサポ」、「はたらこサポーター」など。
- ② 市の障害者雇用に関する意見交換ができた  
市と協議を重ねて話し合いの土台を作った。

# 利用者の声

障害者相談支援センターりぼん

小学校4年になる息子の母です。私がりぼんに行ったきっかけは、息子が今年から特別支援学級に行くにあたって教育研究所の方から「りぼん」という相談する所があると聞いたからです。当時求職中で母子家庭でもあるため、放課後の預かり先が決まっていなかったのはとても不安でした。学童は働いていないので待機扱い、子供と一緒にいると求職活動もままならない状態でした。そんな中、りぼんに行ったことで放課後等デイサービスの事を知り、すぐに見学・体験を通して利用できるようになりました。そして時間ができたことで職場も決まり、その他の情報も教えてもらい、先が開けた思いでした。

息子がデイサービスでおやつを作ったり、先生（男の人）とボールをけて遊んだりし、私にはなかなか難しい関わりをたくさんできることで、とても充実した日々を楽しく過ごしています。

りぼんには今回の事で本当に感謝しています。りぼんを知らなかったら本当にどうなっていたかわかりません。今後も何かあった時にはすぐに相談していきたいです。 R・O



支援員になりました!!(^o^)

両親亡き後、生活保護をもらいながら兄貴と暮らしていましたが、時々殴られるので市役所の人や「りぼん」で話を聞いてもらっていました。

日中一時やショートステイを利用しながら兄貴と離れる時間を作っていましたが、この4月から職員になり、グループホームにも入れました。

これからも兄貴と仲良くします。

S・N



## 新スタッフ紹介



**行方 沙葉**（地域活動支援センターつどいから異動）千葉県出身

平成27年4月1日より社会福祉法人創和の人事異動により勤務しています。皆さんの気持ちに寄り添いながら支援させていただけたらと思っています。

「りぼん」は、相談支援センターと就労支援センターが協力して発行しています。

通常の支援活動でも、市役所3階の同じ部屋にあることで連携して支援を行っており、「りぼん」という名前も共通のものになっています。生活の困り事や仕事のことなど、一人の方の“生きる”ということでは切り離すことができません。そこで「りぼん」は、生活と就労の一体的な支援で皆さんのお役にたつよう努力しています。これからも「りぼん」をよろしく願います。